

平成28年度学校自己評価システムシート（県立大宮光陵高等学校）

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身につけ、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 組織的な教科指導のもとに生徒の自主的な学習姿勢を育て、確かな学力と専門的な能力の向上を図る。 計画的・系統的な進路指導を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。 芸術活動、国際交流事業等を充実させ、豊かな情操、主体性、協調性、創造性を育む。 基本的生活習慣を確立させ、特別活動・部活動などを通して自主的・自律的な精神を養う。 家庭、地域等との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	6名
	事務局（教職員）	8名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標				年度評価（2月9日現在）			実施日	平成29年 2月 17日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	
1	（現状）授業アンケートを実施し、授業改善に生かしている。シラバスを生かし計画的・自発的学習を促している。協調学習を含めた授業研究を行っている。自習室を朝と放課後に開放し、自主的な学習を促している。 （課題）「わかる授業」「力のつく授業」の取組に向けて授業研究や教科研修を改善して、教科指導を一層充実させたい。	指導力を向上し、生徒の自主的な学習習慣を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> ①授業アンケートを実施し、授業改善に生かす。 ②シラバスの効果的活用により、生徒の自主的学習を促す。 ③早朝登校を奨励し、生徒の朝読書・学習習慣・生活習慣改善を促す。 ④「わかる授業」「力のつく授業」を重視し、授業研究・教科研修を積極的に行う。 ⑤アクティブラーニングについて各教科で研究する。 ⑥自習室設置を継続し、利用を呼びかけ、自主学習を促す環境を整備する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①授業アンケートでの生徒・保護者の授業（教科指導）満足度。 ②③生徒の家庭学習時間、学習習慣の定着度。 ④⑤研究・研修の実施状況、生徒・保護者の授業（教科指導）に対する満足度。 ⑥自習室の利用状況。 	<ol style="list-style-type: none"> ①授業アンケートの満足度は昨年の83.5%から85.5%に増加した。 ②③シラバスを生かし計画的・自発的学習を促した。家庭での学習時間は1学年2学年と進むにつれて減る傾向がある。 ④⑤協調学習を含めた授業研究を行った。アンケートの教科への満足度は、昨年度に比べ、生徒1.5%、保護者1.0%増加した。7ヶ月間を意識した授業の実践が見られた。 ⑥朝と放課後に自習室を開放した。夏季休業中には3年生を中心に述べ804名（昨年度781名）の生徒が利用した。 	B	授業アンケートを継続実施し、授業改善の取り組みを行う。シラバスの作成を継続し、計画的・自発的学習を促す。生徒の家庭で学習時間を増やすよう、各教科と連携し、対策を検討する。協調学習を含めた授業研究を継続する。アクティブラーニングの各教科での研究をさらに促す。自習室を継続実施する。	
2	（現状）各学年ごとに進路指導計画表を作成している。スタディサポートの他、1年生2回、2年生3回、全員模試を実施している。多種多様な補講の講座を開講している。 （課題）1・2年生の進路意識啓発の取組を強化して進路意識を高めさせたい。 進路補講をさらに充実させ、教員が開講しやすいように、生徒が参加しやすいように改善していく必要がある。	3年間を見通した計画的な進路指導のもとに早期から進路意識を醸成する。	<ol style="list-style-type: none"> ①各学年ごとに進路指導計画表を作成する。 ②スタディサポートや模擬試験を有効活用し、特に1、2年生の基礎学力定着を徹底し、進路意識を高めさせる。 ③実力養成のための3年生進学講習（補講）を実施する。また、1、2年生の進学補講を充実させる。 ④各種進路行事、「進路の手引き」を軸とした指導を徹底し、特に1、2年生の進路意識啓発の取組を強化する。 ⑤各学年保護者会、PTA主催の進路カフェでの情報提供など保護者の進路に対する関わりを促す。 	<ol style="list-style-type: none"> ①3年間を見通した進路指導計画表が作成できた。 ②スタディサポート・模試の活用状況、模試結果の年間推移、生徒の進路希望状況。 ③進学補講に対する生徒の満足度。 ④⑤取組状況、生徒・保護者の進路指導・進路情報提供に対する満足度。 	<ol style="list-style-type: none"> ①3年間を見通した進路指導計画表を作成し、進路指導を行うことができた。 ②スタディサポートや模擬試験を有効活用し、特に1、2年生の基礎学力定着を徹底し、進路意識を高めた。 ③補講に関してのアンケートの結果は、「充実している」が、昨年度に比べ2.3%の増加。多種多様な講座を開講した。 ④⑤アンケートでは、進路指導・進路情報提供が「適切である」が、昨年度に比べ生徒3.4%、保護者6.0%増加した。 	A	スタディサポートや模擬試験の検証を各学年とも継続・実施し情報を共有する。補講の内容を各教科で共有し、効果的な内容と時期を検討し実施するようにする。新設学部・学科、入試方法の変更、奨学金や進路に係わる金銭面の説明、ネット環境の整備等、保護者へ最新の入試情報を周知・徹底する方法を具体的に検討する。	
3	（現状）芸術科の活動では、校内外の発表会、展覧会等で、全国レベルの実績を残している。オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、音楽科ヨーロッパ研修を成功させ、帰国報告会を実施している。 （課題）本校の特性のある芸術科や国際教育をホームページ（HP）等で写真など工夫してさらにアピールが必要である。	4学科1コースの良さを活かし、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> ①「Koryo Arts Link」事業を継続すると共に、活動を広くHPなどでアピールする。 ②校内外の発表・展覧会等を充実させると共に、その成果を広くHPなどでアピールする。 ③オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、美術科ヨーロッパ研修を成功させ、その成果を全校生徒に報告させ共有する。 ④生徒の国際理解委員会を活性化させる。 ⑤上記の活動の中に、生徒の主体性を育むために、生徒が関わる場面に積極的に設ける。 	<ol style="list-style-type: none"> ①事業の実施状況、活動のアピール状況。 ②校内外の発表・展覧会等の成果、HPでの掲載状況。 ③各研修の実施状況とその成果。 ④委員会の活動状況。 ⑤各活動において生徒が果たした役割、活動状況。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②今年度も、校内外の発表会、展覧会等で、全国レベルの実績を残した。また、その成果をHPに掲載して活動のアピールをした。 ③④⑤オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修を成功させ、帰国報告会を実施した。美術科ヨーロッパ研修についても事前指導等準備をすすめている。各クラスでの交流は、国際交流委員会の生徒が主導した。 	A	各方面との連携や交流を積極的に図り、本校の芸術活動への理解と支援を求めながら、生徒に有益な体験を多くもたらす活動を考えていく。国際理解委員会を活性化させるなど生徒の主体性を育むために、生徒が関わる場面にさらに積極的に設ける。	
4	（現状）基本的生活習慣を確立させる指導、交通安全指導、マナー向上の指導を年間を通して継続的に実施、学校生活アンケートの実施によって、いじめ実態などの把握に努めている。 （課題）自転車の乗り方を含め全校生徒へ注意を促したが、改善されたとは言いえない状況である。自転車運転マナー、バス乗車のマナーについて、全校生徒にさらに啓発する必要がある。	規範意識の醸成と主体性を育む生徒指導を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> ①整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導を継続する。 ②自転車事故防止のための交通安全指導を徹底する。 ③光陵祭、スポーツ大会、予餞会などの学校行事を生徒に主体的に運営させる。 ④部活動（特に運動部）の加入増を図るために部活動見学の機会を設け、活動状況を積極的に外部に発信する。 ⑤情報交換を密にし、早期対応できるよう教育相談体制を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②各取組の実施状況、アンケートにおける生徒・保護者の満足度。 ③生徒が果たした役割、活動状況。 ④部活動加入率、部活動見学機会の状況、HPの更新状況。 ⑤取組状況、アンケートにおける生徒・保護者の評価。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②基本的生活習慣を確立させる指導のアンケート結果は、「行われている」が昨年に比べ生徒1.2%、保護者4.3%減少した。交通安全指導、マナー向上の指導を実施した。 ③④各種行事で目新しい活躍を見せてくれた。各部活動でHPの更新心がけた。 ⑤生徒の悩みに対応しているかのアンケート結果は、「適切に対応している」が昨年に比べ生徒4.9%、保護者2.9%増加した。 	B	光陵生としての資質を認識させ、マナーやルールを習慣化させ、地力として自然にたち振る舞えるように教職員・生徒・保護者の理解・協力を得て生徒指導をすすめる。アンケートなどにより現状を把握し、講演会、集会、委員会指導などを重ねて、人権を尊重し、過ごしやすい生活環境を確立できる力を育成する。	
5	（現状）保護者の学校に対する満足度は、高い。交流事業も関係者から好評を得ている。メール配信システムを活用し、保護者に情報を配信している。 （課題）HPについては、部活動のページなどに教職員が積極的に更新を行い、本校の良さを引き継ぎアピールする必要がある。今年度、授業公開を土曜日に実施する予定である。中学生や保護者の参加数が期待される。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	<ol style="list-style-type: none"> ①昨年度以上にHPの更新を行い、本校の良さを積極的にアピールする。 ②メール配信システムを積極的に活用し、保護者に適切な情報提供を行う。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の宣伝を積極的に行う。 ④地域との交流事業を積極的に行い、地域との連携を深める。 ⑤学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など生徒募集活動を積極的に行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②HPへのアクセス数、メール配信状況、生徒・保護者の学校に対する満足度。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の参加者数及び関係者の評価。 ④交流事業の活動状況、関係者の評価。 ⑤取組状況、説明会の参加人数。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②ホームページの頻繁な更新、生徒や学校活動中心のページ作り等、昨年以上に積極的にアピールすることができた。 ③授業公開を今年度は土曜日に実施した。保護者109名、一般来校者24名の参加（昨年度保護者69名、一般来校者5名）で来校者数が増加した。 ③④交流事業は今年も好評を得た。 ⑤学校説明会では生徒による受付・進行・案内、部活動見学等を取り入れた。 	A	本校の魅力を発信するための方法を具体化する。ホームページがより魅力的になるようにアイデアをだす。授業公開を土曜日にすることで来校者は増加したが、今後どのような形で行っていくか検討する。植水小学校との交流事業を引き続き実施する。	

家庭学習の時間を増やすことは、高校だけでなく小中学校においても、非常に難しい課題である。しっかり取り組んでいる生徒もいるが、塾で満足したり、部活の後勉強しなかったり、考査前の勉強だけで間に合わせてしまう生徒もいる。自習室については、生徒がよく利用しているように感じる。引き続き、生徒の学習環境整備に努めて欲しい。

学校に来た保護者は、進路カフェなどで、進路に関する情報交換をしているので満足している。現在、大学ではネットを使って様々な情報を公開している。入試情報誌など紙ベースが必要なこともあるが、高校でのネット環境の整備が、今後必要になるのではないかと考えられる。

各芸術科の発表会、展覧会、また音楽科の入学式、卒業式での生演奏など非常に素晴らしい。読書会の事前指導で、書道科の生徒がとても良く中学生の面倒を見てもらい助かっている。このまま活躍してもらいたい。

アンケート結果では基本的生活習慣の確立させる指導が少し下がっているが、あまり心配ではない。バス乗車マナーは良くなっていて問題はない。自転車による事故が心配で、自転車事故防止のための交通安全指導を引き続きして欲しい。

ホームページは非常に充実している。アンケート結果では「学校生活が楽しい」が少し下がっているようだが、ホームページを見る限り学校の魅力が十分に感じられ、あまり気にしなくて良いと思う。近年の若者の友人関係作り原因があるのではないかと考える。

